

保安優先の職場の確立



三池労組は5日延命公園内の音楽堂前で、四山鉱炭車暴走衝突連続大災害抗議集会を開催し、災害を統廃させる三井鉱山に対して抗議した。組合員・家族のほか、この日は大牟田・荒尾両地評とその加盟組合代表、社共両党代表らもかけつけた。そして集会終了後、三池鉱業所に対する抗議デモにも加わり、激しく会社に抗議した。

連続災害の責任とれ

組合 会社の保安怠慢追及

三池労組が、うち続く三池炭鉱の重大災害にストライキをうけて抗議した矢さき、四山鉱と三川鉱でまたまた重大災害が起きて死者を出してしまつた。保安管理上の怠慢は隠されず、三池労組は会社に対して「とるべき災害責任を明らかにせよ」ほかの要求・緊急申し入れを行い、団体交渉で追及すると同時に、「非常事態宣言」を出して「命と権利を守り抜き、保安優先の職場を確立するために奮闘する」と、ことを誓つた。

各裁判の公判日程

会社の災害責任を追及する裁判 二十四日午後一時から、福岡地裁の公判日程は次の通りです。
▼上村裁判 右と同じ日の午前十一時から、福岡高裁で。
▼九・二八坑内火災裁判 五月 一時から、福岡高裁で。

▼三池大災害裁判 五月二十九日午前十時から、福岡地裁で。
九・二八公判では吉田・曙病院長が証言。原告組合側代理弁護士による主尋問。上村裁判は原告の上村京子さんについての本人調べです。

死亡したのは下請会社「昌和興業」の境高雄さん(49歳。大牟田市白銀町七〇〇の一。昨年八月入社)。

場所、四山鉱五百二十メートル坑道の連延の二一〇二被覆坑道(坑口から三六十五メートル)だった。その日境高さんは、三番方だった。三人の同僚と、連延坑道の沈没炭積みなどの作業に配役され、仕事をしていたところ、いきなり脱線した炭車と炭壁の間に体をはさまれてしまった。三十分後に息をひきとったが、境高さんは胸骨骨折、右鎖骨・両側肋骨骨折、肺損傷という無惨なケガのため、命のとらぬようにはなかつた。

重傷を負ったのは、やはり「三栄工業」という下請の組長の田島輝久さん(25歳。福岡県山形郡大方当り百六十八号、そのほかで和町明野)。ほか軽傷が二人だが、田島さんもまた脱線した炭車

にこたはかり(無資格者ばかりで操車していた。ここには災害のたびに「絶対に保安を怠るようなことはない」とくり返す会社側の言葉が、ただの飾り文句に過ぎないことを事実を明らかにした。というところだ。このことをききつけるもののようにして、八日にまた、こんどは三川鉱(平賀野場炭坑)で三人の労働者が重傷を負う重大災害が起きた。

炭労春闘スト中止

賃上げなどで回答出る

炭労はこのほど資本側から出された春闘要求に対する回答——千二百円の賃上げというところになる。その他すべての回答については、田島さんもまた脱線した炭車ストライキを中止した。正式算出次号で。

「なに、会社はまだ前進した賃上げ回答出しまへんのか。大げさな金額を出さなければおまへんのに、えらいもったいぶってからに。

定、というものは、会社だけが平和ということかいな。会社が利益を労働者に還元せんよって、ほら、災害が利益を吸い上げることになってしまうのや。」

見なはれ、現場の労働者は出るもんが出らんよって、ライラの毎日や。腹立ててますわ。

「日刊みかわ」(五月十二日発行。三川指導部新聞)の記事で、「関西のオッサン言いました」として掲載されたもの。

なおうち続く重大災害

三池労組が重大災害をくり返す会社に対し、ストライキと集会をもって抗議した五日の午後十一時三十分ごろ、また四山鉱(木村治鉱長)は死亡災害をひき起こしていったものの、今年の四月二十日

「何ほいいなあんとですか。お葬式にはきとらなはつたでしようもん。葬がはられていたか、はられていなかったか、そのことば、見とらなはつたでしようたい」

ほら、利益吸い上げる災害

「なに、会社はまだ前進した賃上げ回答出しまへんのか。大げさな金額を出さなければおまへんのに、えらいもったいぶってからに。見なはれ、現場の労働者は出るもんが出らんよって、ライラの毎日や。腹立ててますわ。これじゃ、災害も起きますな。最近はずと日、公休日と災害が起きますし、死んだも出たことやし、賃金の方話し合いで解決でへんのかいな。そんなことじゃ、平和協

会社は冷たかった

不安が包む朝倉さん宅

冷たい会社

無人炭車がいきなり逸走。坑底入車の暴走に激突してひき起こした四山鉱の大災害は、多数の死傷者を出して世をおどろかした。死亡したのは朝倉叶さん。朝倉さんは、炭車が激突した際に乗っていた入車の座席からふり落とされ、人事とホームとの間に体をはさまれて無残な死を遂げたのだ。四月三十日のことである。

「何ほいいなあんとですか。お葬式にはきとらなはつたでしようもん。葬がはられていたか、はられていなかったか、そのことば、見とらなはつたでしようたい」

「何ほいいなあんとですか。お葬式にはきとらなはつたでしようもん。葬がはられていたか、はられていなかったか、そのことば、見とらなはつたでしようたい」

「何ほいいなあんとですか。お葬式にはきとらなはつたでしようもん。葬がはられていたか、はられていなかったか、そのことば、見とらなはつたでしようたい」